

# 壁紙のメンテナンス

## 1 一般注意事項

### [入居後の換気]

施工時の臭いが残っている場合がありますので、入居後一週間程度は十分に換気を行ってください。

### [直射日光等からの保護]

直射日光や熱風が長時間当たる場所では変退色するおそれがあります。カーテンやガラスフィルムなどで日除けを心かけてください。また、ストーブなどの暖房器具の熱風が壁紙に直接当たらないようにご注意ください。

### [タバコの煙・キッチンの油煙について]

タバコの煙やキッチンの油煙などは壁紙を短期間で黄変させ、頑固な汚れとなります。室内の換気を心かけてください。

### [薬品や化粧品類を付着させない]

スプレー式の薬品(殺虫剤・塗料・化粧品など)を壁紙に付着させないでください。また、傷薬などの医薬品や口紅なども付着させないでください。種類によっては付着した色が落ちなくなったり、壁紙が変色したりすることがあります。

### [家具を壁面に密着させない]

家具の塗料やペニヤに含まれる色素により、壁紙が変色することがあります。家具と壁紙の間は空間の余裕をとってください。変色だけでなく結露やかびの防止になります。

### [ゴム製品を壁面に密着させない]

壁面にゴム製品を密着させたり、ゴム系接着剤を使用したテープ等を使用しないでください。塩化ビニル壁紙に含まれる可塑剤と、ゴム製品に含まれる酸化防止剤が化学反応を起こし、変色等が発生する恐れがあります(ゴム汚染)。

### [粘着テープを貼らない]

粘着テープ(セロハンテープやガムテープなど)を壁紙に貼らないでください。テープの粘着剤が壁紙に移行し、変色や汚れの原因となります。特にゴム系粘着剤は変色が起こりやすいためご注意ください。また、粘着テープを剥がす時に壁紙を破損するおそれがあります。

## 2 汚れが付着したら

### [一般ビニル壁紙の場合]

飲食物や調味料などの汚れは、直ちに固く絞ったスポンジやタオルで汚れを吸い取るように拭き取ってください。落ちにくい場合は中性洗剤をご使用ください。壁紙表面に残った洗剤は変色の原因になりますので、真水かぬるま湯できれいに拭き取ってください。

※強い洗剤やシンナーなどの有機溶剤は、変色や表面破損の原因になりますので使用しないでください。

### [和紙・紙壁紙の場合]

シミの原因になるため水拭きは避けてください。ホコリが付着した場合は、ハタキなどを使用して取り除いてください。

### [珪藻土の場合]

シミの原因になるため水拭きは避けてください。ホコリが付着した場合は、ハタキなどを使用して取り除いてください。汚れが目立つ場合は、固く絞った布で汚れをたたくようにして落としてください。

### [織物壁紙・紙布の場合]

シミの原因になるため水拭きは避けてください。ホコリが付着した場合は、ハタキなどを使用して取り除いてください。汚れが目立つ場合は、固く絞った布で汚れをたたくようにして落としてください。

## 3 剥がれてきた壁紙のメンテナンス

部分的な剥がれであれば、剥がれが広がる前にゴミや埃を取り除いた後、壁紙の裏に文具用の糊や木工用ボンドをはみ出さないように塗布して、十分に圧着してください。剥がれてから時間が経ったものや、劣化して硬くなつたものは補修が困難ですので、貼り替えをおすすめします。

## 4 かびについて

かびは見た目の悪さの問題だけではなく、アレルギーやぜんそくなど、病気の原因になることがありますので注意が必要です。防かび性能がある壁紙もありますが、壁紙単体でかびの発生を防ぐことはできません。

### [かびを防ぐ]

かびは建物の構造や生活環境に大きく影響を受けます。常に換気を心掛け、風通しを良くして、湿度の上昇を抑えてください。

### [かびが発生したら]

かびが壁紙表面だけで発生している場合、早めに消毒用アルコールで拭き取るのが効果的です(壁紙の種類によっては表面が損傷する場合がありますので、目立たないところで試してからご使用ください)。かびが大量に発生してしまった場合は、専門業者に相談することをおすすめします。

## 5 結露について

結露や過度の湿気はシミ・剥がれ・かびの原因となりますので、室内の換気や湿度調整を心がけてください。

### [換気・除湿]

常に換気を心掛け、暖房器具などから発生する水蒸気を外へ排出してください。特に浴室や料理時の水蒸気などにはご注意ください。除湿器や吸湿剤などの活用も有効です。

### [通気を良くする]

家具裏などの隙間に余裕を取り、建物全体の空気の流れを良くする工夫をしてください。

### [冬の結露について]

冬場は室内と外気の気温差が大きく、結露が発生しやすい時期です。また、加湿器を使用した後などは特に発生しやすくなります。こまめな換気や除湿を心がけてください。

## 6 その他

壁紙は日頃からある程度のメンテナンスを行いながら、使用状況に応じて5~10年を目安に貼り替えをおすすめします。